

1820 | 卒業制作

6単位（通信授業4単位、面接授業2単位）

重政啓治教授、内田あぐり教授、尾長良範教授、西田俊英教授、山本直彰教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星晃講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

日本画の素材を使い自己の表現したいものをテーマに、学習の成果で得たものを十分出し、新しい日本画の可能性を示唆するような姿勢で、自己にとっても今後の指針を示せるような制作を行う。

課題の概要

日本画の素材を使つての作品制作2点とする。通信授業・面接授業通しての同一課題。作品は卒業制作展で展示。描画材は日本画絵具。支持体は自由で、サイズは80～100号。壁面取り付け可能な木製パネルとする。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成29年度』の「卒業制作」、教科書『日本画・表現と技法』、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

[面接授業]

卒業制作における中間指導として、下図指導、制作工程計画、技術的問題等の指導を受けながら制作をする。

・前半	第1日	午前：前提講義及び中間講評	午後：制作
	第2日	午前：制作	午後：制作
・後半	第3日	午前：前提講義及び中間講評	午後：制作
	第4日	午前：制作	午後：制作

成績評価の方法

卒業制作提出作品、面接授業、全体講評の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 以下のすべての条件を満たすこと。

- ・日本画コースに在籍していること。
- ・日本画コース3年次必修科目をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049の特例を除く）。
- ・「日本画Ⅵ」、「日本画Ⅶ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 油絵学科日本画コース4年次必修科目。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版局 2004年）

学習指導書：『日本画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）